熊本市電　再生プロジェクトについて

資料9

1　熊本市電　再生プロジェクト

■経緯

- 昨年から続発するインシデント等や3月の追突事故を受け、交通局は危機的な状況に直面
- 今後、市電が真に市民から信頼される公共交通機関となるべく、本プロジェクトを発足

■ミッション

- 人・モノ・組織など、交通局の運営に係る全ての分野を立て直し、将来にわたり持続可能な交通局へ生まれ変わることで、市民・利用者が安心して利用できる熊本市電を再生

■推進体制

熊本市電　再生プロジェクト

企画・立案

市電再生タスク・フォース

◆**対策検討**…短期、中期、長期の各段階に応じた対策の整理や、対策に要する概算事業費及び期間の整理

人事・経理G	軌道G	架線・設備G	車両G	運転G（安全対策チーム）
・運転士の正規雇用化、待遇改善の検討 ・整備業務の外部委託の検討 など	・基準の整備 ・更新計画の策定 など	・基準の整備 ・更新計画の見直し ・作業手順の整備 など	・編成体制の検討 ・更新計画の整備 など	・乗務員育成 ・指導教育 ・事故防止対策 など

◆**経営・運行体制検討**…持続可能な財源確保策及び運行体制の検討

必要な情報収集・分析・解決策の提案

※タスクの状況を踏まえ、適宜体制強化・拡充

専門的知見による業務支援

外部委託

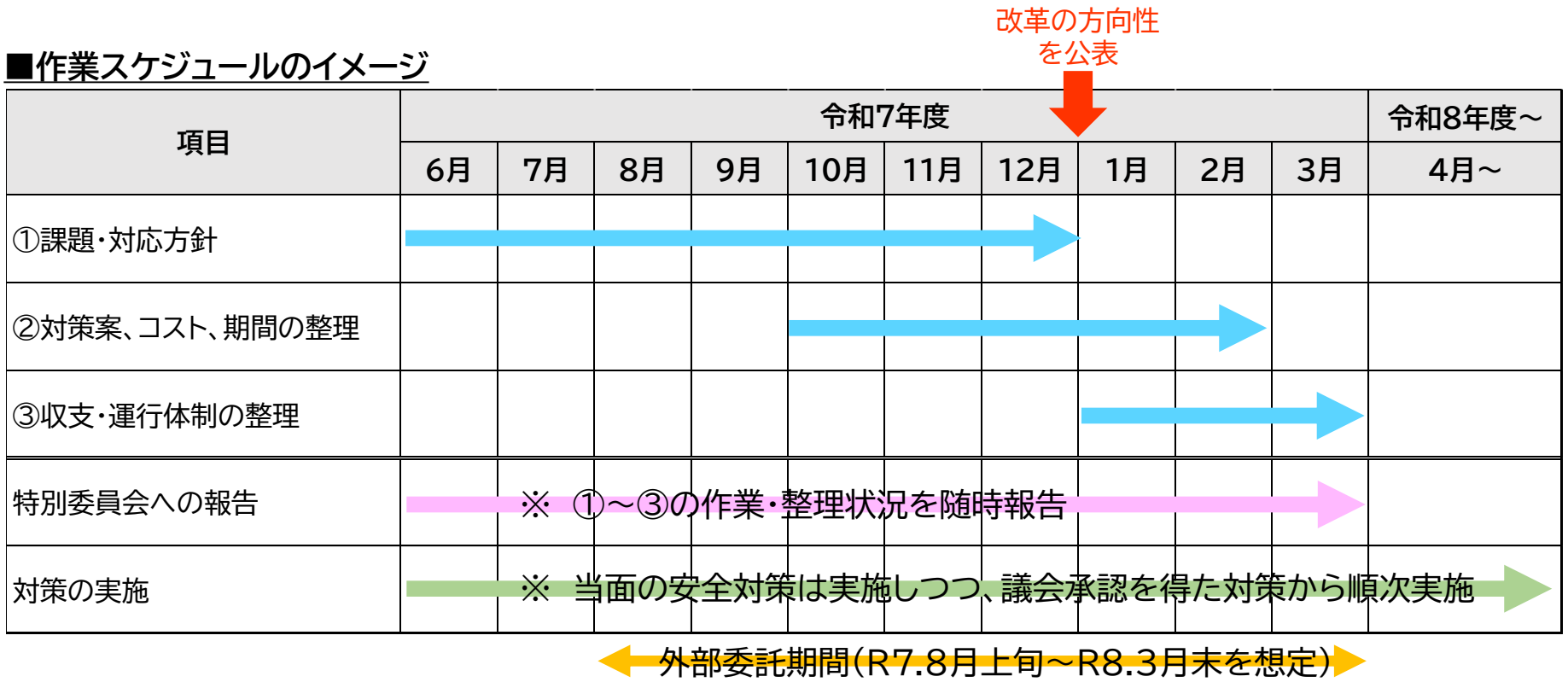
- ・これまでの取組の評価
- ・他事例調査
- ・対策案（短期、中期、長期）の提案
- ・対策に必要なコスト、期間の整理
- ・財源や運行体制の整理
- ・収支シミュレーション

実行

交通局　総務課　　交通局　運行管理課

※早急に対応が必要なものは適宜実施

2　再生プロジェクトの作業スケジュール

- 現在、タスク・フォースを中心に、これまでの取組状況等を踏まえた上で、課題や対策方針等を内部整理中。
- 今後、8月上旬を目途に外部委託に関する委託業者と契約予定。その後、作業スケジュールを精査し、具体的な工程を整理。
- 人、モノ、組織などに関する課題、対応方針、対策の整理、これらに必要となるコストや期間、運行体制、収支シミュレーションなどを随時行い、整理ができた事項から、特別委員会等へ報告する。

■作業スケジュールのイメージ